

# Sentence Building Dominoes

## 並べて作る！英作文ドミノ

文字に“触って”文章を作ってみよう！

品詞ごとに色分けされたカラフルなドミノを使って文章を組み立てることで、文章の構造を視覚的に捉え、子ども達の言語能力をアップさせます！自分の言葉を相手に真っ直ぐ伝えられるように、正しい文法を身に付け、文章を組み立てるスキルを磨きましょう！



## ドミノを見てみよう！

### 始める前に…

- ①子ども達がカラフルなドミノに触れる時間を十分に設けましょう。見慣れない難しい単語は、一緒に読んでサポートしてあげましょう。ドミノが様々な色に分けられていることに気付くでしょうか。それぞれのドミノは、英語の文章や話す言葉を組み立てる一部分であり、種類ごとに色分けされていることを説明しましょう（名詞、代名詞、動詞、形容詞、副詞など）。
- ②大文字で始まるドミノや、ピリオドのドミノを見つけましょう！英語の文章は、大文字で始まりピリオドで終わることを説明しましょう。
- ③“-s”“-ed”“-ing”のドミノを見つけましょう！これらが単語にくっつくと、新たな意味の単語になることを説明しましょう。例：boy-boys、laugh-laughed、play-playing など

### 名詞ドミノ（青）

【名詞：人・物・場所などの名称を表す言葉】

全てのドミノの中から、青色のドミノを取り分けましょう。書かれている単語をよく見て、声に出して読む練習をします。“children”“park”“cake”などは全て、人や場所、物の名称を表す言葉であることを説明しましょう。青のドミノの中から3つ取り、それらを人、物、場所で分類しましょう。手元正しく分けることができたなら、残りのドミノも同様に分類しましょう。

### 動詞ドミノ（オレンジ）

【動詞：動作や状態を表す言葉】

全てのドミノの中から、オレンジ色のドミノを取り分けましょう。“run”“throw”“walk”などのいくつかのドミノを取り、子どもと読む練習をして意味を確認しましょう。それぞれの単語はどのような動作や状態を表しているかな？選んだ単語の中から1つ選び、その言葉が意味する動きを子どもに見せましょう。出題する人と答える人に分かれて順番でジェスチャーゲームを行います。このように、動作や状態を表す言葉を動詞と言うことを説明しましょう。

動詞ドミノの中には、“are”“was”“can”などのように、動作や状態を表していない単語があります。これらの動詞は、文章の中で特別な役割を果たしています。“are”や“was”などは、文章の中で2つの言葉を結びつけたり、存在を表す役割があります。また“can”は、動きを表す動詞の前に置かれ、その動詞の意味を少しだけ変化させます。このように、動詞の働きを助け、意味に変化をもたらす言葉を助動詞と言います。



## 代名詞ドミノ (水色)

【代名詞：名詞の代わりに使われる言葉】

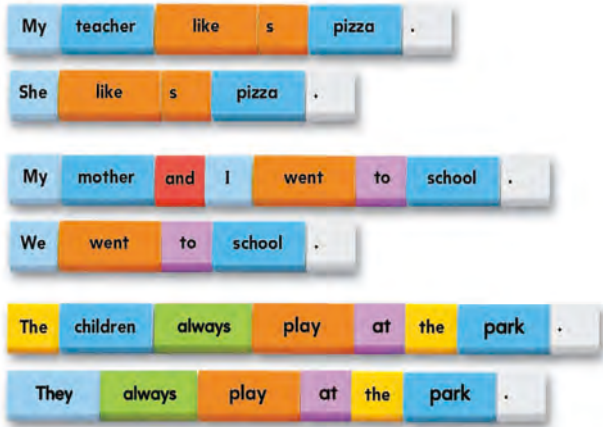
ドミノを使っていくつかの文章を作ってみましょう。

例：My teacher likes pizza.

My mother and I went to school.

The children always play at the park.

これらの文章の意味を変えずに、正しい代名詞 (She・We・They) と置き換えてみましょう。代名詞は、文章の中で名詞の代わりに使われます。様々な文章を作って、名詞を代名詞に置き換える練習を繰り返し行いましょう。



## 前置詞ドミノ (紫)

【前置詞：名詞・代名詞の前に置き、意味を付け足す言葉】

全てのドミノの中から紫色のドミノを取り分け、これらは前置詞であることを説明します。いくつかの前置詞は、2つの言葉を互いにつなげる働きをします。その他の前置詞は、物の場所・位置を表しています。

“on” “off” “under” “near” の前置詞ドミノを取り、小さなぬいぐるみなどを使って、前置詞のイメージを捉える練習をしましょう。

例えば、ぬいぐるみをテーブルの下に置きます。ぬいぐるみの位置を表す正しい前置詞ドミノはどれかわかるかな？より理解を深めるために、順番で場所を表す前置詞についてクイズを出し合ってみましょう。

## 接続詞ドミノ (赤)

【接続詞：単語と単語、言葉と言葉をつなげる言葉】

全てのドミノの中から赤色のドミノを取り分け、これらは接続詞であることを説明します。接続詞は、文章の中の言葉と言葉をつなぐ働きをします。

例：The dog and cat play.

## 形容詞ドミノ (黄色)

【形容詞：名詞や代名詞を説明する言葉】

全てのドミノの中から、黄色のドミノを取り分けましょう。併せて、名詞ドミノ (青) もいくつか取ります。おかしな組み合わせになってもいいので、形容詞+名詞のペアを作ってみましょう。形容詞は、状態や数など、名詞を詳しく説明する言葉であることを説明しましょう。

例：new+car= new car (新しい車)

red+apple= red apple (赤いリンゴ)

two+children= two children (2人の子ども達)



## 単語の一部分をよく見てみよう！

“laugh” というドミノを見てみましょう。この単語は文章の中で、動作を表す“動詞”であることを確認します。では、次の文章を作ってみましょう。

The laughing (laugh+ing) boy ran to me.

動詞の“laugh”が“the boy”という名詞を説明 (修飾) する形容詞になりました。

このように形が変わることで、文章内での役割や意味が変わる単語があることを理解しましょう。



## 副詞ドミノ (緑)

【副詞：動詞・形容詞・副詞を説明する言葉】

全てのドミノの中から、緑色のドミノを取り分けましょう。併せて、動詞ドミノ (オレンジ) もいくつか取って、動詞+副詞のペアを作ってみましょう！副詞は、いつ、どこで、どのように動詞の内容が行われるかを詳しく説明する言葉であることを理解しましょう。

例：play+today= play today (今日遊ぶ)

run+fast= run fast (速く走る)

sleep+here= sleep here (ここで眠る)



# 文章を作ってみよう！

## 文章って何？

“The baby smiles. (赤ちゃんが笑います。)”のように、文章とは単語の集まりで、文章全体の話題を表す主語と述語から成り立っています。文章は通常、少なくとも名詞・動詞の2つの重要な構成要素を持っていることを理解しましょう。

また、英語の文章は必ず大文字から始まり、ピリオドで終わることを忘れないでください。

それでは、名詞と動詞を使ってシンプルな文章を作ってみましょう！

## 文章の構成について考えよう！

より長く、面白い文章を作るため、形容詞や副詞、その他の品詞を使って文章を作ってみましょう！文章の意味を変えたり、より簡単に文章を組み立てるために、“語尾ドミノ (-s・-ed・-ing)”を使うこともできます。

また、文章を組み立てる際、「3つの名詞、1つの動詞、2つの形容詞、そして1つの前置詞を使って文章を作ろう！」などのようにルールを作ってもOKです。



## おかしい文章を作ろう！

まずは、子どもと一緒に短くてシンプルな文章を作ります。作った文章内の名詞や動詞を他の言葉に置き換えて、ユーモアのあるおかしい文章にしてみましょう。文章ができたら、紙に文章とそれを表すイラストを紙に描きます。たくさんできたら、おかしい文章ブックを作って夜寝る前の読み聞かせに使ってもいいですね！



## 何かが無いゾ！

いくつかのドミノから成る1つの文章を作って子どもに見せます。ただし、この時単語が1つ足りない状態にしておきます。

まずは、子どもに文章を読んでもらいます。何かおかしいことに気付くでしょうか。正しい文章にするために足りない単語を見つけましょう。様々な単語が抜けている文章を作り、正しい単語を見つける練習をしましょう。慣れてきたら、今度は子どもに出題してもらいましょう。順番にゲーム感覚で繰り返すことで、より楽しく行えます。



## 文章スクランブル！

お互いの手元が見えないように、開いた本などで子どもと保護者の間に壁を作ります。1つの文章を組み立てるいくつかのドミノ選び、ごちゃまぜにしましょう。正しい文章になるように、それらのドミノを正しく並べてもらいましょう。順番で問題を出し合い繰り返し行いましょう。始めは、短くシンプルな文章から始めることが大切です。



## セット内容

両面カラードミノ × 114 (228の単語と句読点)

内訳：

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 名詞ドミノ (青) × 46    | 副詞ドミノ (緑) × 20  |
| 代名詞ドミノ (水色) × 28  | 前置詞ドミノ (紫) × 18 |
| 動詞ドミノ (オレンジ) × 56 | 接続詞ドミノ (赤) × 10 |
| 形容詞ドミノ (黄色) × 38  | 句読点ドミノ (白) × 12 |



発売元：  
株式会社ドリームブロッサム  
880-0123 宮崎市芳士 607  
TEL：0985-72-6622  
www.dreamblossom.jp